

議案第 1 号

県立高等学校編成整備実施計画（平成 24 年度～平成 33 年度）について

県立高等学校編成整備実施計画（平成 24 年度～平成 33 年度）を別紙のとおり定める。

平成 24 年 3 月 28 日

沖縄県教育委員会

1 件名

県立高等学校編成整備実施計画（平成 24 年度～平成 33 年度）

2 策定の必要性

(1) 現行の編成整備計画は、単位制やコース制の導入、専門学科の増設、総合学科の設置等、新しいタイプの学校の再編等の推進を図ってきた。

次期計画では、少子化等への対応や多様な学習スタイルや学び直しを必要とする者に十分対応できる教育環境の充実を図るため、平成 24 年度からの整備に向けて新たな計画を策定する必要がある。

(2) 「編成整備の基本方向」を策定した後に「編成整備実施計画」を策定し、あわせて「編成整備計画」とする。

3 策定の経緯

(1) 調査、ヒアリング、保護者、地域住民等との意見交換等を踏まえ、編成整備実施計画【素案】を作成（平成 23 年 6 月～平成 23 年 11 月）

(2) 外部有識者を交えた「県立高等学校編成整備に関する懇話会」を 5 回開催し、【素案】に対し 193 件の意見を聴取（11 月～12 月）

(3) 懇話会の意見を踏まえ 5 項目を修正して【案】とし、県民意見の募集及び関係団体意見の照会。県民意見 121 件、関係団体 44 の意見を受け付け（1 月～2 月）

(4) 県民意見及び関係団体意見を踏まえて【案】の 5 項目を修正

4 内容の概要

I 本県県立高等学校編成整備実施計画の策定について

1 基本事項

- ・ 「基本方向」で示した編成整備の基本事項を元に計画を策定する。

2 計画実施時期

- ・ 前期計画（平成24年度から平成29年度）
- ・ 中期計画（平成26年度から平成31年度）
- ・ 後期計画（平成28年度から平成33年度）
- ・ 長期的な計画（平成24年度から平成33年度の10年間を通して行う計画）
- ・ 編成整備計画全体としては、計画そのものの検証・見直し期間を平成 24 年度から平成 30 年度とし、次期計画の策定期間を平成 30 年度から平成 33 年度とする。

Ⅱ 前期計画

1 北部地区高等学校再編計画

- (1) 名護高等学校に理数科等大学進学に特化した学科の設置
 - ・ 名護高等学校に理数科等大学進学に特化した学科を設置する

2 南部工業高等学校と沖縄水産高等学校の統合

- ・ 南部工業高校を沖縄水産高校に統合する

Ⅲ 中期計画

1 北部地区高等学校再編計画

- (1) 辺土名高等学校を名護高等学校の分校化
 - ・ 辺土名高校が両科の定員を満たした場合は計画を再検討する
- (2) 本部高等学校と北山高等学校の統合
 - ・ 実施計画までに本部高校が定員3クラスを満たした場合は、計画を再検討する
 - ・ 北山高校理数科が今後定員の過半数割れが2年連続して生じた場合は3年目から理数科の募集停止を行う

2 久米島高等学校（園芸科）の廃科

- ・ 普通科に園芸コースを設置する
- ・ 園芸科が定員を満たした場合は計画を再検討する

3 新しいタイプの学校

(1)フューチャースクール

中部フューチャースクール（仮称）

- ・ 中部地区の高校を1校再編する

南部フューチャースクール（仮称）

- ・ 南部工業高校跡地に設置する

(2)定時制課程再編

那覇工業高等学校定時制課程

- ・ 那覇工業高校定時制課程を三部制に再編する

中学生支援センター（仮称）

- ・ 那覇工業高校定時制夜間部に中学生支援センター（仮称）を設置する

Ⅳ 後期計画

1 伊良部高等学校を宮古高等学校に統合

- ・ 実施期間までに架橋による影響等により定員を満たした場合は計画を再検討する

2 陽明高等学校介護福祉科の改編と真和志高等学校の介護福祉コースを学科に改編

- ・ 陽明高校介護福祉科は総合学科系列とする

V 長期的な計画

1 過大規模校の適正規模化

- ・ 10年間で適正規模化を進める

2 沖縄インターナショナル中等教育学校

- ・ 10年間で諸々の課題の解決や生徒・保護者・地域のニーズ等を考慮しながら設置の有無を含め検討する。

3 中等教育学校

- ・ 10年間で諸々の課題の解決や生徒・保護者・地域のニーズ等を考慮しながら設置の有無を含め検討する。

4 八重山商工高等学校定時制課程について

- ・ 定時制夜間部の活性化の促進に努める
- ・ 今後定員の過半数割れが2年連続して生じた場合は3年目から募集停止を行う。

VI 再編・統合の方法

VII 再編・統合のイメージ